

# 音楽科学習指導案

平成28年6月24日(金) 6時間目

須崎市立朝ヶ丘中学校

1年B組 生徒数 21名

場所：音楽室

指導者：

題材名 詩と音楽のかかわり ～音楽の要素を捉えながら～  
(教材名「魔王」 シューベルト作曲)

## 1、題材について

### (1) 題材観

本題材は、音楽の特徴を感じ取りながら、詩で表現されているイメージを関連付けて聴き、その良さを味わうことをねらいとしており、学習指導要領「B鑑賞」(1)ア[共通事項]アを扱う。

今回取り扱う教材である歌曲「魔王」は、シューベルトが18歳の時にゲーテの詩に出会い、深く感銘を受けて作曲した曲である。この曲は伴奏のリズムの変化や強弱、旋律の高低など音楽の特徴が分かりやすくまた、詩も「語り手」「父」「子」「魔王」という4つの登場人物の対話形式で進行しており、これまでの学習の中で体験、習得してきたことをもとに音楽を形づくっている要素や構造と曲想のかかわりを探究し、感受することで、自己の感じ方の深まりや表現の高まりの実感をもたせるようにしながら仲間とともに協働的な活動をとおして学習を深めさせたいと考え、本題材を設定した。

### 生徒観

本学級の生徒は、日頃より男女問わず仲良く、休み時間なども明るく交流している。入学当初から学習に対しても大変意欲的で、自分の感じたことを素直に表現する生徒が男女とも数多く存在している。また歌唱活動や表現活動においても、仲間の発表に対して肯定的に受け止め、自然に拍手や励ましの声が出たりと互いに安心した雰囲気の中で学校生活が送れており、5月に実施したQ-U(楽しい学校生活をおくるためのアンケート)でも7割の生徒が学級生活満足群に位置し、学級内にルールが内在化していて主体的に生き生きと活動している状態が表れている。今回の学習では、これまで歌唱やリコーダー演奏で学習してきたことで楽曲を聴くことや歌詞から感じることを通して自分の言葉で表現したり、他者の意見を受け入れたり協働的な活動を取り入れることで自分の考えがより深まり、次時への学習に意欲的に取り組めるようにしたい。

### 指導観

「魔王」は、題名からも興味を掻き立てられる題材で、語り手も含めて1人が4役を歌い分け、ピアノ伴奏が歌全体の雰囲気づくりと情景描写を巧みにやっている楽曲である。詩の内容を想像して音楽の要素を感じ取ることができる。また、短い歌曲であるため、様々な展開での鑑賞を行いやすく、課題の設定の仕方についてもさまざまな方法が考えられる。

鑑賞という領域は、ともすれば受け身の授業になりがちであるが、生徒一人一人が思考し、それを言葉にして説明したり発表し合う中で互いの想像した内容を認め合い、高め合いやすい教材として扱いやすいと考え、今回教材として選んだ。

音色、リズム、強弱、速度、旋律などの音楽を形づくっている要素から4人の登場人物の心情の変化を感じ取らせ、自分の考えを深め、それを仲間とともに共有しながら音楽に対して苦手意識を持ってい

る生徒にとっても音楽の良さや楽しさを感じる力を身につけさせたいと考えている。そのために、班での話や、全体で情報を共有することなどをおしてできるだけ対話させるようにしながらコミュニケーション力を身につけ、生徒同士が関わり合えるようにしたい。

### 3、題材の目標

○物語の進行と曲想の関係を感じ取って、音楽の特徴を捉えながら聴き深めることができる。

### 4、題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
① 「魔王」の音楽を形づくっている音色・リズム・旋律・強弱などの構造と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			①楽曲を知覚・感受しながら音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを感じ取り、音楽の良さを味わって聴いている。  ②旋律の特徴や登場人物ごとの表現における曲想の変化や雰囲気を感じ取ることができる。

### 5、指導と評価の計画(全2時間)

次	学習内容	評価		評価の観点	
		関	鑑	評価規準	評価方法
1	・楽譜から音楽の雰囲気や登場人物の変化を探り、楽曲の良さを味わう。	◎	○	「魔王」の音楽を形づくっている音色・リズム・旋律・強弱などの構造と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。  【関心・意欲・態度】① 楽曲を知覚・感受しながら音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを感じ取り、音楽の良さを味わって聴いている。】  【鑑賞の能力】①	・観察法 ・ワークシート
2	・旋律の特徴や歌い方の変化・伴奏の変化によって多彩な表現の良さを感知させる。		◎	②旋律の特徴や登場人物ごとの表現における曲想の変化や雰囲気を感じ取ることができる。  【鑑賞の能力】②	・観察法 ・ワークシート

### 6、本時の指導

#### (1) 本時の目標

【歌詞と音楽から登場人物の特徴を探ろう！】

#### (2) 本時の評価規準

「魔王」の音楽を形づくっている音色・リズム・旋律・強弱などの構造と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度①】

楽曲を知覚・感受しながら音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを感じ取り、音楽の良さを味わ

って聴いている。【鑑賞の能力①】

(3) 準備物

・「魔王」CD・ワークシート（2枚）・班活動用模造紙・音楽の要素揭示用短冊・付箋

(4) 学習の展開

	探究的な学習の流れ	生徒の意識の流れ	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入  10分          展開 35分	<b>課題の提示</b>  ↓ <b>思考</b>  ↓ <b>表現</b>  ↓	「ピアノの音？」  「なんか怖い歌だなあ」 「何かを言っているみたい」  「子どもは怖がっているから高い音かな？」 「魔王は弱い声だな」 「でも低く太い声のところもあるな」  「なるほど、そんな意見もあるな」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原曲を聴き、タイトルを考える。</li> <li>・歌詞を配布し、内容を把握する。</li> <li>・「魔王」（日本語）を聴き、気づいたこと・特徴を考える。</li> <li>・各班で意見交流し、班ごとに出てきた意見を発表する。</li> <li>・他の班の発表を聴きながら情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「魔王」（原曲）を聴かせ、曲のイメージを膨らませる。</li> <li>・各自で黙読させ、場面を想像させる。</li> <li>・音楽を形づくっている要素と関連させて理由を言えるようにさせる。 <b>音色（声色）</b>について気づかせる。</li> <li>・ワークシートに付箋を用いて記入させる。（個人）</li> <li>・拡大したワークシートに自分の言葉で伝えさせながら付箋を貼り、情報を共有させ、学習が深まるようにする。（班）</li> <li>・自分たちの意見と異なる意見や新しく発見したことなどを考えながら聴くようにさせる。</li> </ul>	「魔王」の音楽を形づくっている音色・リズム・旋律・強弱などの構造と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 <b>【関心・意欲・態度①】</b>  楽曲を知覚・感受しながら音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを感じ取り味わって聴いている。 <b>【鑑賞の能力①】</b>

歌詞と音楽から登場人物の歌声の音色を探ろう！

			<ul style="list-style-type: none"> <li>再度「魔王」（日本語）を聴く。</li> </ul>	<p>これまでの意見の相違や新しい気づきが出せるようにする。</p>	
5分 まとめ	ふりかえり		<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のふりかえりとまとめ、次時への予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに今日のふりかえりを書かせ、発表させる。</li> <li>次への期待が膨らむような言葉かけをする。</li> </ul>	

板書（ホワイトボードを使用）

めあて

歌詞と音楽から登場人物の歌声の音色を探ろう！

授業の流れ

1. 曲を聴いてイメージをふくらませよう
2. 曲の特徴を考える
3. 班、全体発表
4. まとめ・ふりかえり